

2024_0314「オーロラと流星とカシオペア（写真）」日々の理科 3507号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

オーロラ自動撮影カメラにはいろいろなものが写ります。一番多いのは「恒星」です。カメラを設置してあるのが北緯67度付近なので、北極星の地平高度も約67度になります。特に北天の星は非常に観測しやすく、北斗七星を含むおおぐま座はもちろん、日本では一定期間地平線下にある、こと座やはくちょう座も、一年中地平線上看える「周極星」になります。

もう一つは「流星」です。毎年、ふたご座流星群やしし座流星群の前後には、オーロラカメラにも、たくさんの流星が写ります。流星群の見られない時期でも「散在流星」と呼ばれる流星は、一年中見られます。これは日本の夜空でも同じことが言えます。

先日、美しいスパイラル状のオーロラとカシオペア、それに流星（カシオペア座の右下）と一緒に写っていました。面白いのは、オーロラと流星が現れる高度が似ていることです。なかなか役者がそろった写真を得られました。

(2024年3月中旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス／東京から遠隔観測)

